



コンパクトなまちづくりを基本とした 環境政策のさらなる推進

～ソーシャルキャピタルあふれる
持続可能な付加価値創造都市を目指して～

富山市 環境政策課 東福光晴



富山市の概況

富山市の概要

総面積：1,241.77km²（県庁所在都市では2番目の広さ）

人口：421,953人（2010年国勢調査）

世帯数：159,151世帯（2010年国勢調査）

特徴：海拔0mの富山湾から標高2,986mの水晶岳までの
自然豊かな多様な地形

森林面積が市域の約7割

包蔵水力全国第2位（富山県）

地熱資源量全国第2位（富山県）

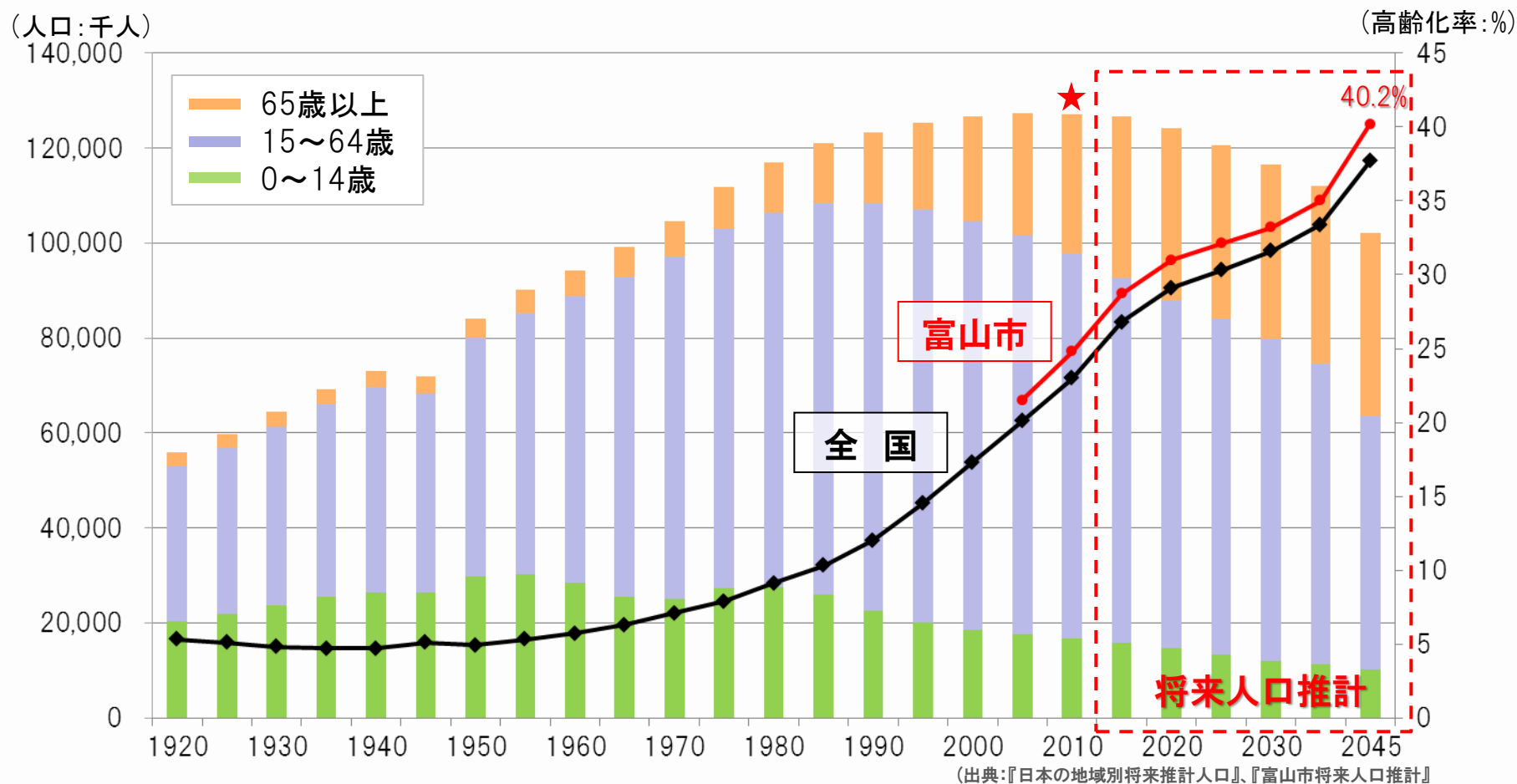


富山駅上空からみた市街地



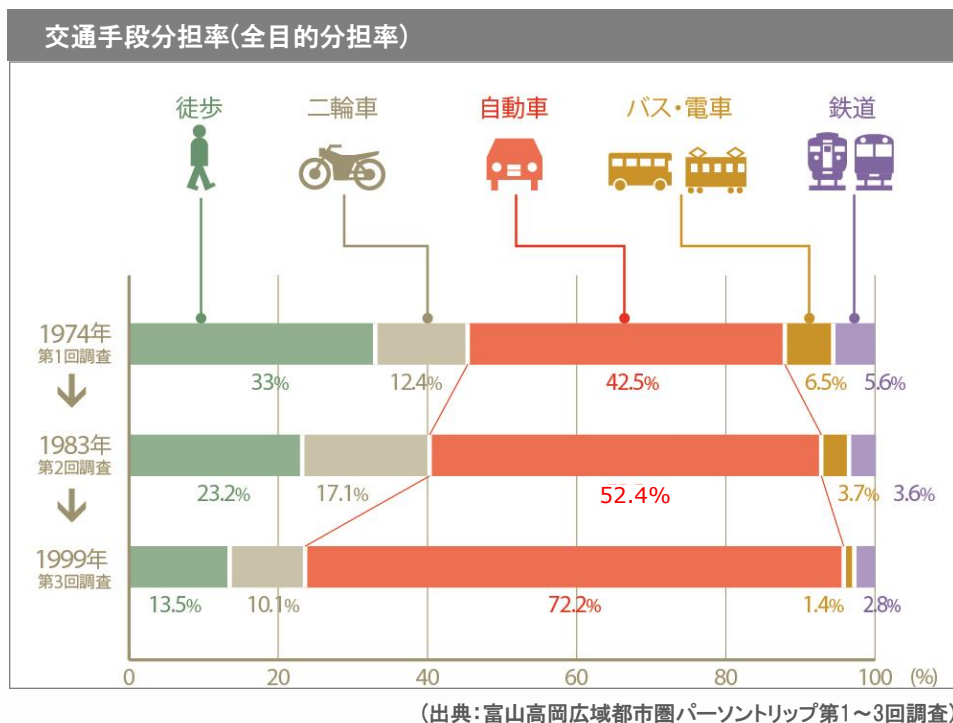
都市の課題 ～人口減少と超高齢化～

日本の総人口は2010年をピークに減少に転じ、高齢化率は急激に上昇する見込み。
特に地方都市においては、激しい人口減少と高齢化に陥ることから、20年・30年先を見据えた、**将来世代に責任が持てる「持続可能な都市経営・まちづくり」が必要**

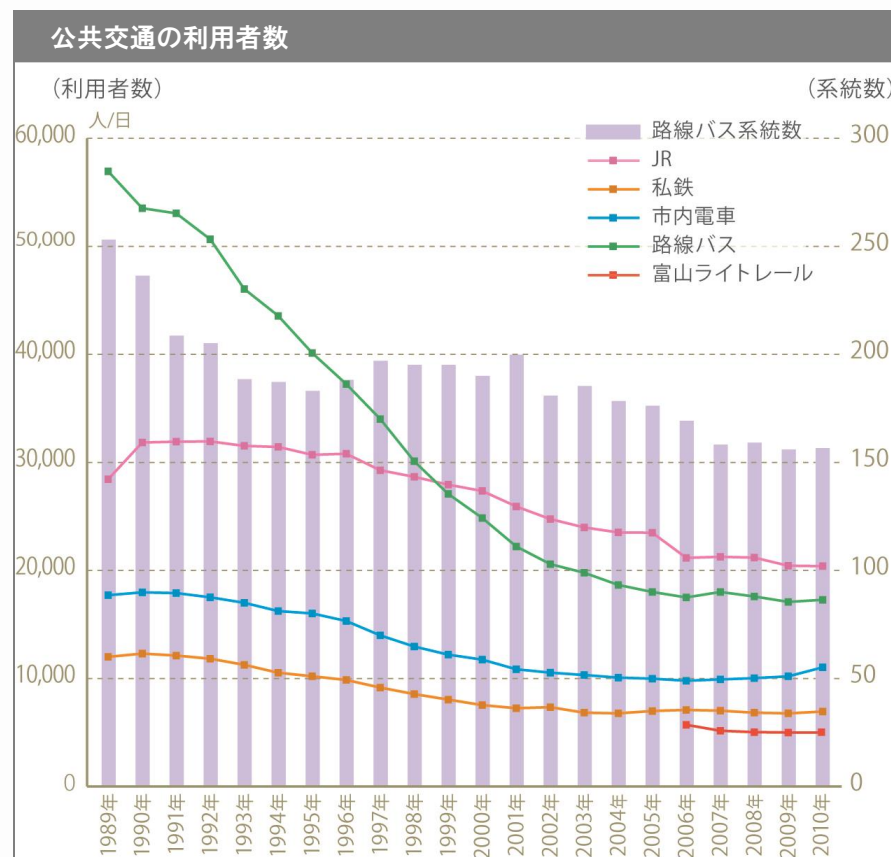


都市の課題 ～過度な自動車依存と公共交通の衰退～

富山県の一世帯あたりの自動車保有台数は全国第2位(1.72台/1世帯当たり)で自動車の交通手段分担率は全目的で7割を超えるなど、過度に自動車に依存。一方で、公共交通の衰退は著しく、「車を自由に使えない人」にとって極めて暮らしにくいまちを形成。



中核都市圏では全国で最も高い自動車分担率



都市の課題 ～CO2排出量～

CO2排出量は、産業、家庭、業務・その他、運輸の4部門合計で1990年から2005年までに**約15.7%増加**

■富山市の温室効果ガス排出量（森林吸収量を除く）

単位：千t-CO₂

		1990(平 2)		2005(平 17)		増減率
		〔基準年〕	構成比		構成比	
部門別排出量 エネルギー起源CO ₂	エネルギー転換	76.8	1.9%	45.6	1.0%	-40.6%
	産業	1,670.9	42.1%	1,534.1	34.8%	-8.2%
	家庭	518.1	13.1%	801.0	18.2%	54.6%
	業務・その他	411.3	10.4%	619.1	14.0%	50.5%
	運輸	848.8	21.4%	1,037.4	23.5%	22.2%
非エネルギー起源CO ₂ (工業プロセス, 廃棄物)		272.3	6.9%	245.6	5.6%	-9.8%
CH ₄ , N ₂ O ※1		90.6	2.3%	80.7	1.8%	-10.9%
代替フロン等3ガス ※1※2		76.8	1.9%	44.8	1.0%	-41.7%
計		3,965.6	100.0%	4,408.3	100.0%	11.2%

《CO2排出量の増加要因(1990年と2005年の比較)》

家庭

- ・機器の大型化・多様化等により家庭用機器のエネルギー消費量が増加。
- ・世帯数の増加により、電力等のエネルギー消費が大幅に増加し。

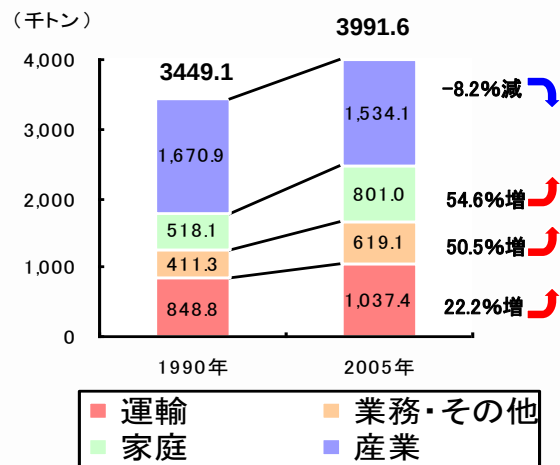
業務・その他

- ・事務所や小売等の延床面積の増加に伴う空調・照明設備の増加。
- ・オフィスのOA化の進展等による電力等のエネルギー消費の大幅な増加。

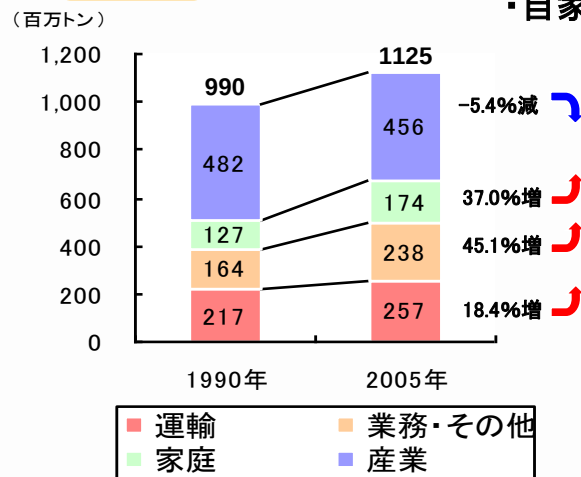
運輸

- ・自家用車の交通需要の拡大等による大幅に増加。

富山市



全国



富山市のCO2排出量の増加率は、**家庭、業務・その他、運輸の3部門で全国平均を上回っている。**



公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり による環境政策の推進

鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、**公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり**を実現

<概念図>

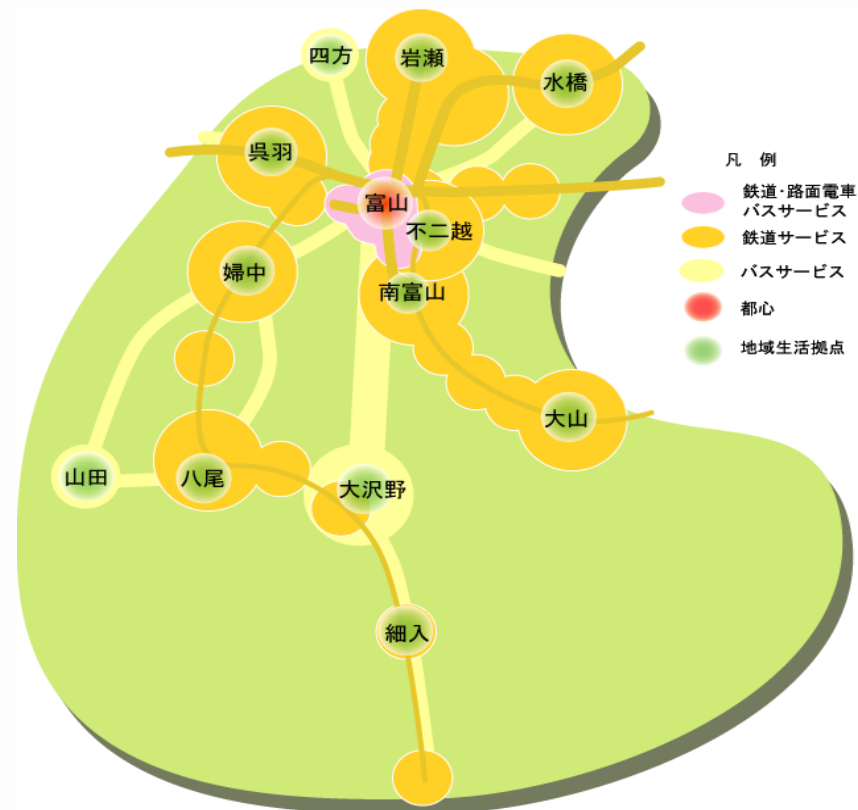
富山市が目指す「お団子と串」の都市構造

串 :一定水準以上のサービスレベルの公共交通

お団子:串で結ばれた徒歩圏

<実現するための3本柱>

- ① 公共交通の活性化
- ② 公共交通沿線地区への居住促進
- ③ 中心市街地の活性化



■ 環境モデル都市の選定（平成20年7月22日）

目的：温室効果ガスの大幅削減など高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジする都市を選定し、世界の先例となる「低炭素社会」への転換を進める

選定理由：公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを核としたCO2削減計画について評価を受けた

➤ 富山市環境モデル都市行動計画

第1期計画：平成21年4月～平成26年3月

第2期計画：平成26年4月～平成30年3月



■ 環境未来都市の選定（平成23年12月22日）

目的：世界に類のない成功事例を創出するとともに、その成功事例を国内外に普及展開することを通じて、新産業の創出や地域活性化など、我が国全体の持続可能な経済社会構造の実現する

選定理由：LRTなどの公共交通を軸としてコンパクトシティを目指す戦略的な提案であり、地方都市の抱える課題の解決モデルになり得る

➤ 富山市環境未来都市計画

第1期計画：平成24年5月～平成29年3月

